

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス旭町教室		
○保護者評価実施期間	R6年 10月 25日		R6年 11月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	R6年 10月 25日		R6年 11月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 11月 29日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	柳沢プログラムによる運動療育とカードや読み聞かせによる療育により脳の成長、活性化を促すプログラムの実施	腕力、支持力、跳躍力の3つの視点から体全身にアプローチし、フラッシュカードや読み聞かせによる静の活動へと切替をしっかりと行えるような環境づくりと声掛けをしている	1人1人の合った運動レベルの設定や子どもたちが参加したくなるような運動の提供、環境設定
2	集団療育を行うことで小集団に慣れ、社会性を獲得する	家庭、学校以外の社会活動をすることで社会性を獲得する機会を増やしている	集団の中で児童の気持ちを汲み取ることのできる大人とのコミュニケーションだけでなく、子どもたち同士でのコミュニケーションをとれる環境設定を行う

3	専門職による専門的な視点からのアプローチ	嚙下や発語に関わる部分を集団や個別に子ども1人1人に合わせた方法でアプローチしている	親御様に携わる機会を増やし、周知していく取り組みを行い、教室だけでなく自宅でも療育の継続とアプローチの回数を増やしていく
---	----------------------	--	--

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	マニュアル作成していても保護者への周知がなされていない	社内向けのマニュアルになっている	保護者向けの分かりやすいマニュアルを作成し、ホームページやきっぷノートで発信していく。
2	教室の活動の様子を十分理解してもらえていない	利用前の見学体験時の様子しか見ていない保護者が多い	参観週間あるいは、体験週間を計画し保護者に活動の様子を理解してもらう
3	地域や他事業所との交流がない	計画倒れになっている	こまめな計画を立てて、話し合いを繰り返し実現していく